

外喉頭への貼付による発声感覚実験

実験および考察者 ボイスケアサロン 會田茂樹

被験者

- 歌手 20 名（声楽・オペラ・J-POP・アニソン・Rock・民謡ほか）
- ランダムに分ける（ α 群 & β 群）

α 群 10 名は指定した場所に貼付〔適切な形状に加工〕

最適な位置を教え、毎回、確認しながら正確に貼る

β 群 10 名は自由に場所を決めて貼付〔既製品形状そのまま〕

毎回、一度決めた同じ位置に貼る

注意事項

- 貼った状態で 1 時間以上歌って評価すること 【感覚で OK】
- 12 時間以上貼り続けないこと
- 他製品に貼り換える際は 12 時間以上空けること
- 貼ったまま就寝しないこと

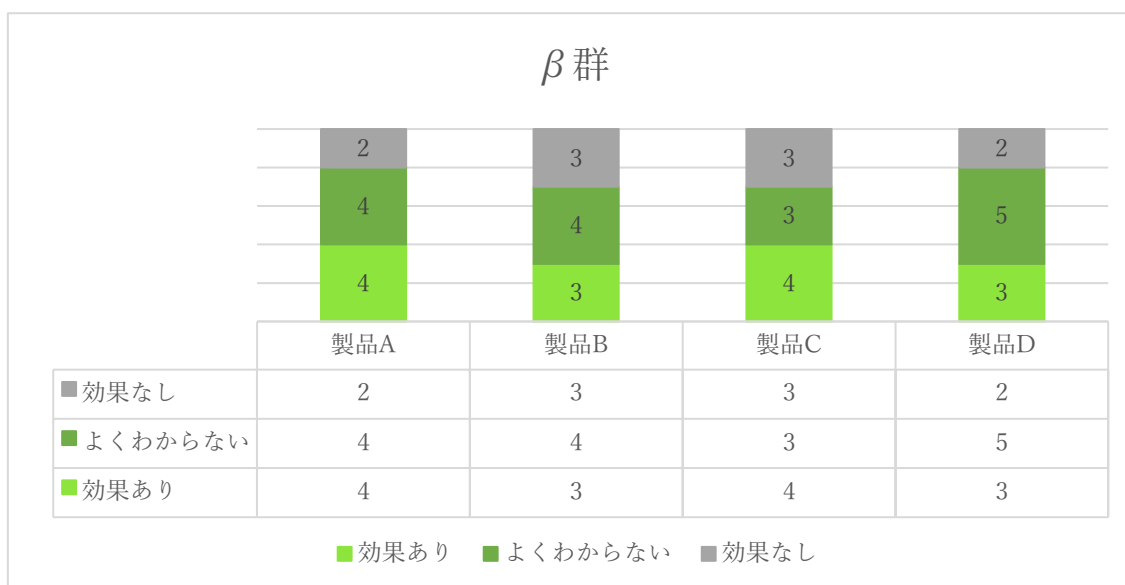
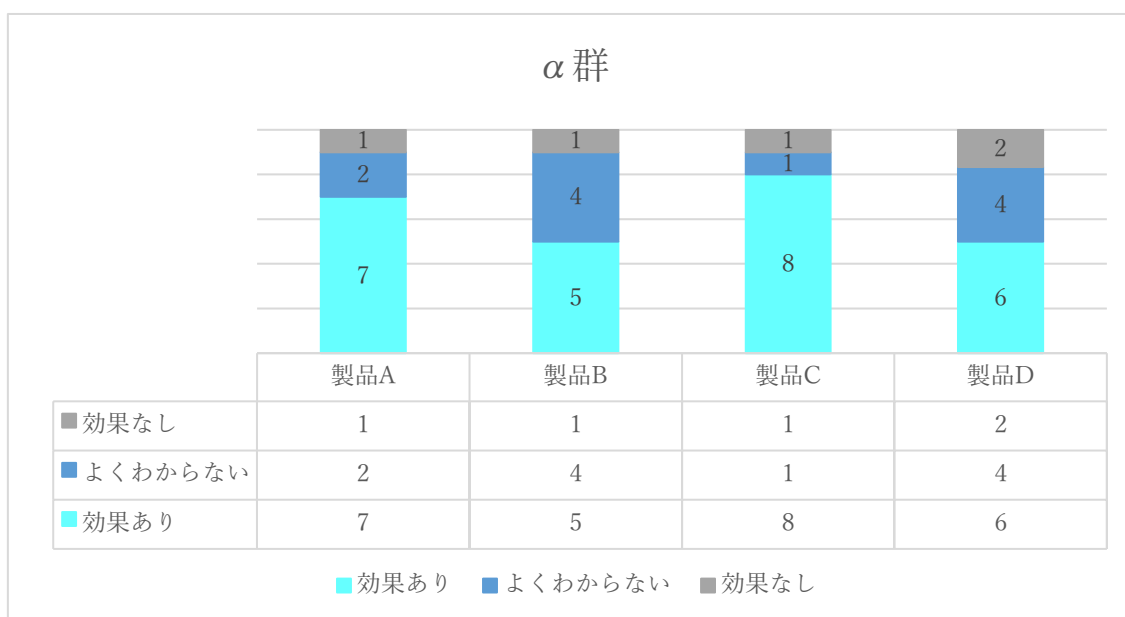
各社製品名

製品 A ■■■■■■

製品 B ■■■■■■

製品 C ■■■■■■

製品 D 無名シール（マグネット貼り換え用）〔プラセボ比較のため〕



効果ありの意見（感想：～ような気がする…）

- 歌唱が楽に感じた
- 高音が伸びた
- 低音が豊かになった
- 長い時間歌えた
- 音量が増した
- リズムが正確になった

まとめ

- 貼付することで、何らかの効果を感じる歌手が存在する事実が判明。
- 歌唱は感覚的ゆえ、効果を得た歌手には、今後もある程度有効と思われる。
- 曖昧な声ではあるが、外喉頭の発声医科学に基づき、貼る場所が重要。

その他

- ボイスケアに意識が高い歌手が集まっているため当該実験に過好意と考える。
- 「よくわからない」と「効果なし」の評価を下す基準が漠然としている。
- 指定場所の貼付は発声力&持続性の向上と高音発声を獲得する二か所あり。
- 今後、各社の製品種を増やし、被検者母数を増やし、長期の検証を試みる予定。